

広報

かわごえ環境ネット

2024年3・4月号 No.196

キンランは埼玉県の絶滅危惧種IB (EN) に指定されているとても希少なランです。4月の下旬ごろから1週間ほど黄色に輝く花を咲かせます。生育条件の厳しいランで、根が菌根のラン菌と共生、ラン菌はさらに周辺の樹木の根と共生しています。ですから雑木林のような樹林地と一体になった環境が必要です。キンランだけを持ち出しても育ちません。花の白いギンランもほぼ同じころ見ることができます。(賀登環)



かわごえ環境ネット

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

かわごえ環境ネットは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

- 2: 【報告】 歳末まち美化活動 (12月24日)
- 3: 【報告】 映画上映会「蘇れ生命の力～小児科医 真弓定夫～」(2月3日)
- 4: 【コラム】 自然を訪ねて (14) 生物多様性農法が地球環境を守る
- 5: 【募集】 春の里山自然観察&クリーン活動 (4月20日開催)
会員向け情報 (理事立候補者募集、会費納入のお願い、総会開催)
- 6: かわごえ環境ネットからのお知らせ
- 7: 会員からのお知らせ
- 8: イベントカレンダー (2024年3月1日～4月30日)
ボタニカルアート (6) ボタン

残したい川越の風景 (14) 川越市内のキンラン群生地 (2023年4月22日撮影)



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

【報告】歳末まち美化活動（12月24日）

12月24日（日）に、2023年を締めくくる歳末まち美化活動を実施しました。

開催経過

9:30に本川越駅交番付近に集合した参加者は総勢58名。参加者は、市民、かわごえ環境ネット会員、武州ガスとその関係会社の方々など4歳～80歳代と幅広い年齢層でした。

小瀬理事長の挨拶から始まり、渡辺利衛さんからのゴミ収集の注意点やコース説明のあと、5つのコースに分かれてまち美化活動を開始。収集したゴミは中央公民館で分別し、11:30に解散し

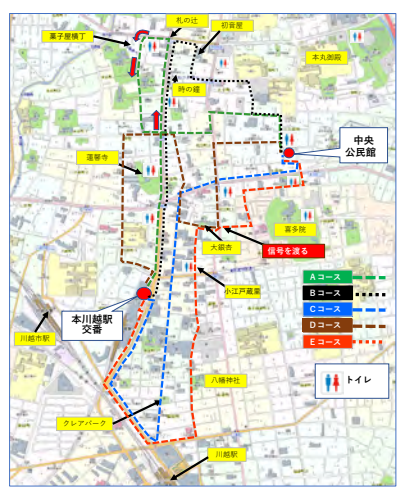
ました。みなさまありがとうございました。

おわりに

ゴール（中央公民館）に到着すると、コースごとに収集したゴミと一緒に写真を撮ります。みなさんの表情がにこやかで、楽しい雰囲気が伝わりうれしく思います。ぜひまたご参加ください。

（飯島希）

*クリーン活動は、2024年度から年2回（「春」と「歳末」）となります。「春の里山クリーン活動&自然観察」は4月20日（土）の実施です。（5面参照）



コースマップ



開始時の参加者集合写真



Aコース



Bコース



Cコース



Dコース



Eコース



ゴミを分別する様子

かわごえ環境ネット会員募集

個人会員、団体会員を随時募集。年会費は個人会員1,000円、団体会員2,000円。3月中に入会した場合、当月の会費は免除。この機会にぜひご入会ください。

会員特典 ①本紙「広報かわごえ環境ネット」や各種おしらせを郵送・E-mailでお届け、②本紙及び本会インターネットへの記事掲載、チラシ同封、③本会主催の事業への優先参加、④総会、専門委員会活動への参加

詳細 かわごえ環境ネット事務局（川越市環境政策課）に問い合わせるかWebサイト（<https://kawagoekankyo.net>）をご覧ください。



入会案内

【報告】映画上映会「^{よみがえいのち}蘇れ生命の力〜小児科医 真弓定夫〜」（2月3日）

開催概要

2月3日（土）午後15時に高階公民館を会場として「^{よみがえいのち}蘇れ生命の力〜小児科医 真弓定夫〜」上映会を行いました。

参加者は125名（大人117名、小学生7名、未就学児1名）、市議会議員2名、原村映画監督のお顔も見られました。何人集まるのか心配しながらの会場準備。80席用意したイスは、開場間もなく足りなくなり約50席追加。

受付を入った正面に『かわごえ環境ネット』のリーフレットと、映画の補足資料と小冊子を展示。立ち止まって読む人の姿がありました。

上映会は小瀬理事長に挨拶をいただき、簡単に見どころの紹介をして上映開始。熱心にメモを走らせている方を何人も見ました。映画が終わると大きな拍手が会場に響きました。

小瀬理事長からお礼の挨拶と原村政樹監督作品の紹介などをして閉会。

感想の発表がなかった分、みなさんの思いをアンケートに書いていただきました。107枚配布して62枚の回答（性別：女性51名、男性11名。住まい：市内50名、市外12名）があり、その中の20人ほどが子育て世帯とされます。また、回答者のうち23名の方が後日開催予定の感想おしゃべり会の案内で「はい」に○をつけました。この人たちの中に、この映画をずっと見たくて探していた人たちが何人もいました。すでに真弓先生の本から学び、実践している方でも、この映画を観て気付くことがあり観られてよかったと。

「ヒト」は自然の一部である。健康であるためのお手本は「野生動物」であることを忘れないようにしようと書いている方が大勢いました。

ヒトはどうしたら野生動物を手本にできるでしょうか？

生命力を高める生活とは・・・

◆食べることについて：“四里四方（16km以内）のものを食べる”、“四季にあった物を食べる”、“できるだけ加工されていないものを食べる”、“伝統的な和食を食べる”

◆飲むことについて：“加工されていない水を飲む（水やお茶を飲む）”

◆空気について：“空気を加工しない”。食べ物や水より大事なのが空気だと真

弓先生は繰り返す。体温調節機能や生命力が衰えていく。できるだけ外気と同じ気温で生活を。家の外と内の温度差は5℃以内にして。

真弓先生の生活ぶり

朝食は和食でご飯と野菜中心。少々のごま油以外は、油も砂糖も使わない。歯が汚れないので、歯磨きをしないで過ごしてきた。6畳2間。冷暖房はなし。“暖衣飽食は病のもと”。薄着で、寝具も季節によって変えたりせず、年中、同じものを使う。

娘から見たお父さんは、事実をありのまま受け入れる人。怒られもしないし、ほめられもしない。ただ、見守ってくれていた。自分の命よりも人との約束や絆を大切に。父が伝えようとしているのは「覚悟」。自分自身に覚悟を持って生きてくれることを願っている。

子どもの力を信じてのびのび自然流育児をする〜麦っ子畑保育園〜

真弓先生の講演をきっかけに、真弓先生の育児に対する考え方を実践する。

「低体温が万病の元であるから、薄着で群れをなして遊ぶ。空気を加工しない」。冬でも半袖に裸足で遊んでいるので、37℃〜37.5℃と比較的体温の高い子が多い。冷暖房はなし、冬も窓は開けっ放し。クラスごとの部屋で区切っていない。自然に大きい子が小さい子の面倒を見るようになる。いろんな体験も含めて、子どもは強く、大きくなっていく。麦っ子畑の食事は、人工的なものや添加物、農薬などを使用していない素材にこだわり、野菜たっぷりな和食を中心。

麦っ子畑保育園の後任の園医高野先生の“内なるドクター（自己治癒力）”と多くの人が書きました。「どんな人の中にも内なるドクターがいるのに、彼らはその真実を知らずに医者を訪れる」（アルベルト・シュヴァイツァー）。

お産も“自然であること”

お産の分野でも“自然であること”を大切にした吉村医院元院長 吉村正さんは、便利さによってさまざまな能力を失ったと。助産師 岡野真規代さんは、妊娠中の十月十日をどうやって過ごしたかが大事と。

おわりに

子どもたちを健康に育てることと環境

に配慮した生活。“覚悟”して生きる。

自然界では当たりまえなのに…。

「健康と電気代は反比例する」と、真弓先生の言葉が頭に浮かぶ。

国連のグテーレス事務総長も言っている「地球沸騰化」に歯止めがかかることを祈ります。

（松岡壽賀子）

*【配給元のWebページ】トキノツカサ企画：ドキュメンタリー映画「蘇れ生命の力〜小児科医 真弓定夫〜」（https://tokinotsukasa.com/video_works/mayumisadao/）



司会の松岡

小瀬理事長の挨拶



会場の様子



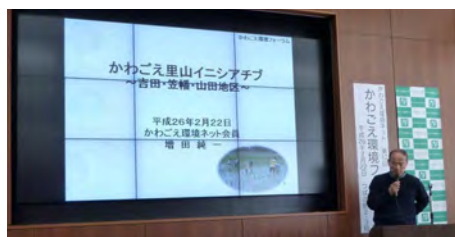
上映会の応援団による配布物のセット作業

はじめに

2013年度の第12回かわごえ環境フォーラムで、かわごえ里山イニシアチブ（以下、かわごえ里山）が設立宣言の発表をしていることをFaceBookが思い出させてくれました。

当時の発表では、設立の目的を「田んぼは、稲作だけではない日本の環境を守ってくれる大切な役割を担っており、このことを普及・啓発するための活動が必要で、水田の生態系を回復する生物多様性向上が今求められており、このため日本の農業や環境を守り人の健康を守るための活動をしていきます。」と宣言しています。

設立から10年を迎え、振り返ってみると、その構想や目的に生物多様性向上を掲げ、ぶれていないことに安堵したとともに、昨今の地球を取り巻く環境を見るにつけ、その活動の必要性に想いを強くしました。



第12回かわごえ環境フォーラムでのかわごえ里山設立宣言（2014年2月22日）

小さな農業が環境を守る

かわごえ里山では、設立以来小さいながらも環境にやさしい米作りにより、水田に関わる生きものの多様性を向上させることを目指してきました。設立から10年目を迎えた昨年の生きもの調査で、生態系の豊かさ指標が大きな数字（40点でそれまでは30点前後）となり、生物多様性の飛躍的な向上が見られたことは驚きでした。生物多様性向上の活動に確信を得た年でもありました。



田んぼの生きもの調査（2023年7月1日）

小さな農業「日高田んぼ女子プロジェクト」の誕生

2023年度のかわごえ里山の新しい試

みとして、主婦、母、働く女性の顔を持つ忙しい3人に、稲葉農法の「誰でもできるいのち育む有機稲作」の基本を教え、みんなで取り組む初めてのコメ作りを全面支援しました。その結果、1反当たり7.6俵（かわごえ里山の通常の収穫量の2倍）を収穫できましたが、それよりも大きな収穫は結（ゆい）の精神でみんなで助け合っ楽しくおコメづくりができたことでした。

“目指すのは自然と共に続ける自給農”をスローガンに掲げる「日高田んぼ女子プロジェクト」が誕生しました。小さな農業のモデルケースとしての始まりです。



日高田んぼ女子プロジェクト

「武蔵野の落ち葉堆肥農法」が世界農業遺産に

2023年7月、「武蔵野の落ち葉堆肥農法」が世界農業遺産に認定されました。江戸時代から続けられてきたこの農法は生物の多様性を育むシステムが作られており、この地域で360年以上にわたり続けられたことは、生物多様性農法の範を世界に示したと言っても過言ではないでしょう。

生物多様性戦略に舵を切る千載一遇のチャンス

そこで川越市は、この「武蔵野の落ち葉堆肥農法」を“世界農業遺産”としてだけに終わらせるのではなく、持続可能な生物多様性戦略を掲げる構想を打ち出し、生物多様性による自然環境の向上や農産物のブランド化を目指す方向に舵を切る千載一遇のチャンスではないかと考えています。佐渡の農業は、トキと共生する農業遺産として生きものを育む農法が世界的に評価され、「トキと共生する佐渡の里山」で収穫されたお米が“朱鷺の舞”などでブランド化され、高値で販売されています。

オーガニックビレッジ宣言と学校給食の有機化

かつての川越は雁の里でした。雁は、川越市の市の鳥として今でもその剥製が川越市役所の1階に飾られています。農業遺産を契機に、「トキと共生する佐渡の里山」のように「雁と共生する川越の里山」くらいの意気込みで、環境にやさしい農産物のブランド化を図りたいものです。

そのためには、大きな枠組みとしての生物多様性戦略の下、農林水産省が掲げる「みどりの食料システム戦略」の中で推進する「オーガニックビレッジ」を宣言し、その実行プランの一つとして学校給食の一部有機化を推進していくことが重要だと考えています。

お米や野菜の有機農産物を「地産地消」で循環させることにより、地球温暖化や地域経済、農林水産省が掲げる「みどりの食料システム戦略」による有機農業の耕作面積の増大にも寄与し、一石三鳥の効果があると確信しています。

おわりに

国連環境計画（UNEP）が2021年に公表した統合報告書で「自然生態系を破壊しない農業」、「肥料や農薬を減らした自然に優しい農業」を提言しています。農林水産省は「みどりの食料システム戦略」の中で、2050年までに農薬のリスクを50%、化学肥料の使用を30%減らし、耕地面積に占める有機農業の面積を25%に拡大する目標を掲げました。

今の日本では農薬や化学肥料の使いすぎで土壌が疲弊し、土壌の健全化が損なわれ、地球温暖化を増大させています。生物多様性農法がこれらの課題解決の重要な鍵となると確信し、「日高田んぼ女子プロジェクト」が示すように私たち市民レベルの「暮らしに根ざした小さな農業」が、生物多様性を向上させ自然環境を保全し、地球温暖化を防止する最善の策と考えています。

（NPO法人かわごえ里山イニシアチブ 代表理事 増田純一）



誰でもできる有機稲作 日高田んぼ女子プロジェクトから

【参加者募集】春の里山 自然観察&クリーン活動(4月20日 土曜日開催)

春の里山 自然観察&クリーン活動

場所(仮称)川越市森林公園計画地
参加者募集

かわごえ環境ネットは里山保全やクリーン活動(年2回)などの環境保全活動を行っております。
4月は(仮称)川越市森林公園計画地にて、春の里山 自然観察&クリーン活動を行います。
川越に残された貴重な里山を保全し、里山の新緑を分かち合う活動です。
多くの方のご参加をお待ちしております。



自然観察

活動の成果

軍手など作業用手袋をお持ちください



頒布中

日時 4月20日(土) 9時30分

川越南文化会館(ジョイフル) エントランス 集合

- 9時30分 集合 コース案内、ゴミ袋配布
- 9時45分 公園計画地の自然観察とクリーン活動
- 11時30分 ジョイフル集合場所で分別 参加証明書交付
- 12時 解散

参加申込 募集人員 先着30名 参加費無料

申し込み 4月1日(月) 午前10時から 電話で環境政策課に ☎049-224-5866

当日の連絡先 横山三枝子 携帯 080-5087-9398
賀登 環 携帯 080-1158-9673

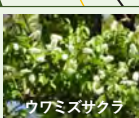


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



公園計画地について

所在地 川越市大字砂新田・今福・下松原
面積 約38万㎡ ※東京ドーム約8個分
計画趣旨 川越市は2004年に「雑木林の自然と文化をみんなで育み伝える公園」として公有地化と整備開始



かわごえ環境ネット
事務局 川越市環境部環境政策課
☎049-224-5866(直通)

かわごえ環境ネットは里山保全やクリーン活動(年2回)などの環境保全活動を行っております。

4月は(仮称)川越市森林公園計画地にて、春の里山 自然観察&クリーン活動を行います。

川越に残された貴重な里山を保全し、里山の新緑を分かち合う活動です。多くの方のご参加をお待ちしております。

実施概要

日時: 4月20日(土) 9:30-12:00

集合場所: 川越南文化会館(ジョイフル) エントランス前

募集人員: 先着30名

参加申込

4月1日(月) 10:00より川越市環境部環境政策課まで(Tel.049-224-5866)

*当日、軍手など作業用手袋をお持ちください。



2023年の自然観察&クリーン活動の様子

会員向け情報(理事立候補者募集、会費納入のお願い、総会開催)

これらの情報の一部は新年度になってから案内すべきものですが、隔月刊の広報のため、早めにお知らせします。

2024~2026 理事立候補者募集

2024年度は本会役員改選の年です。かわごえ環境ネットの将来を考え、運営に携わる理事への立候補者を募集します。任期は2024年度総会開催日から2026年度総会開催日までの2年間で、個人会員と団体会員(事業所、民間団体及び行政)から募集します。

立候補される方は、本紙に同封またはメールサービスで送付される「かわごえ環境ネット理事立候補申込用紙」に

必要事項を記入し、4月8日(月)必着でかわごえ環境ネット事務局にご提出ください。

2024年度会費納入のお願い

2024年度会費の納入をお願いします。年会費は、個人会員1,000円、団体会員(民間団体、事業所、川越市)は2,000円です。4月1日(月)から5月24日(金)までにゆうちょ銀行の口座に振込ください[口座番号00180-2-13880(ゆうちょ銀行以外から振り込む場合は、ゆうちょ銀行〇一九支店 当座0013880), 加入者名:かわごえ環境ネット]。振込方法によって手数料がかかります。

2024年度総会開催

2024年度総会を5月25日(土)10:00-12:00に開催します。場所については別途ご案内します。連絡方法が郵送のみの会員には、4月に会費納入の案内と出欠連絡用はがきを含めた情報を郵送でお送りします。また、メールサービスを提供している会員には、メールで振込先と出欠連絡用フォームの情報をお送りします。「2024年度総会議案書」は、広報紙を郵送している会員に広報2024年5・6月号(No.197)と一緒に送付します。メールサービスを提供している会員には添付ファイルで送付します。

報告

理事会・事業運営委員会

1月24日(水) 事業運営委員会・理事会

1 チョウの冊子印刷のため自然環境部会の予算追加を承認、2 役員改選の選出手順と日程の検討、3 第22回かわごえ環境フォーラムのちらし印刷・配布の検討、「かわごえ環境活動報告集」の発行スケジュールの確認、報告会の発表順序の検討、午後の部「ワークショップ」の実施方法の検討、4 「川の一斉水質調査」の今後の対応を検討、各専門委員会の次年度事業計画の検討状況の確認、5 総会開催日の決定、通知方法の確認、総会後の懇親会開催(屋外)を決定、6 「春の里山 自然観察&クリーン活動」の担当引き継ぎ、7 (仮称)川越市森林公園計画地におけるコナラ伐採の状況報告(林床植生への影響を懸念)、8 「歳末まち美化活動」の実施結果報告、9 「映画上映会」の準備報告(理事長 小瀬博之)

社会環境部会

2月9日(金) 13:30-14:30

川越市役所修養室で例会を開催。参加者6名。部会代表欠席のため理事長が

座長・記録を代行。1月の例会からの継続協議事項を中心に話し合い。

報告・協議事項 1 第22回かわごえ環境フォーラム「環境活動報告会」の社会環境部会報告者の確認(菊地理事)、2 5・6月号以降の広報のコラム担当者の確認(3月例会で決定)、3 2023年度事業報告・決算報告:事業はほぼ実施できた。事業報告の文案、決算は3月例会で検討、4 2024年度事業計画・予算は3月例会で審議、5 毎月の例会を廃止する方向であるが、現在の例会参加者の活動基盤の継続も課題、6 映画上映会の実施報告(理事長 小瀬博之)

自然環境部会

1月例会は10日(金)市役所7C会議室にて9名参加、2月例会は9日(金)市役所地階修養室にて8名参加

1.活動報告 1 「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動:1月8日(月)14名参加 年間計画検討、オドリコソウエリアのチェック、1月22日(月)17名参加 オドリコソウ群生地に残置された伐採木の撤去、2 池辺公園定例活動:1月は休止、2月14日(水)北本自然観察公園にバードウォッチング、

3 冊子「チョウから見える川越の環境」オールカラー40ページを発行。かわごえ環境フォーラムで配布

2.協議事項 市に協力している生き物調査について考察や分析など。次期環境基本計画見直しについて意見交換。今年度実施したイベント、観察会などの振り返り。次年度事業計画検討(自然環境部会代表 賀登環)



川森の手入れ活動(2月12日)



北本自然観察公園でバードウォッチング(2月14日)

予告・募集

会合

◆**広報委員会** 1 3月6日(水)・2 4月3日(水) 9:00-9:30

●**社会環境部会** (第2金曜日) 3 3月8日・4 4月12日(金) 13:30-14:30

●**自然環境部会** (第2金曜日) 3 3月8日・4 4月12日(金) 14:30-16:00

◆**事業運営委員会** 5 3月13日・6 4月17日(水) 9:00-10:00

◆**理事会** 5 3月13日・6 4月17日(水) 10:00-11:30

★**川越市環境計画見直し意見交換会**

7 3月27日(水) 9:30-11:30、4月開催は未定(決定次第本会 Web に掲載)

会場: 1 2 オンライン(URLは委員に別途案内)、3 5 川越市役所地階修養室(川越市元町1-3-1)、4 6 川越市役所7E会議室、7 オーク2H₂会議室(川越市郭町1-2-2)、* 3 4 は会員が、7 はどなたでも参加できます。

自然環境部会の活動

★**A 「(仮称)川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動** (毎月第2・第4月曜日) 3月11日(25日は休止)、4月8・

22日(月) 9:30-12:30 集合:川越南文化会館(ジョイフル)(川越市今福1295-2)

★**B 池辺公園定例活動** (毎月第2火曜日) 3月12日・4月9日(火) 9:30-12:00 場所:池辺公園(川越市池辺1302)

★**C 「生物多様性講座」～川越の植物を訪ねて～** 3月23日(土) 9:30-12:00

場所:川越南文化会館(ジョイフル)、講師:牧野彰吾氏、川越市主催・自然環境部会協力、申込:3月1日(金) 10:00 から電話で環境政策課(Tel.049-224-5866)

A B の問い合わせ先: 賀登(Tel.049-234-9366)

6-8 ページの記号凡例 ★:本会主催・後援等一般公開行事 ●:本会会員対象行事 ◆:本会理事・委員対象会合 ◎:本会会員等主催のイベント等 ○:その他(個別記事参照)

広報委員会

2024年5・6月号(No.197, 5月1日発行) 投稿募集(会員対象)

提出期限:4月8日(月)

提出方法:原稿(テキストデータ、図表)と写真等の画像(解像度の高い元データ)は電子データで編集担当共有のメーリングリスト(koho@ml.kawagoekankyo.net)に送付。メーリングリストは事前登録が必要。未登録の方は広報委員会メール(koho@kawagoekankyo.net)に問い合わせを。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局(環境政策課、川越市役所本庁舎5階)に提出。

本会「ホームページ」「note」への投稿会員であれば随時対応します。koho@kawagoekankyo.net へご連絡を。

NPO 法人かわごえ里山 イニシアチブ

増田純一 (E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623)

近況報告

1月20日(日)にマコモ葉を野焼きするどんど焼きを行いました。田んぼ文化の伝統である藪玉作りや、ぜんざい、焼き芋を食べながら1年の無病息災、農作業の安全を祈りました。



1月20日 どんど焼き

予告

◎堀さらい 4月6日(土) 8:00-

◎播種(種まき) 4月27日(土) 9:00-

Facebook <https://www.facebook.com/kawagoesatoyama>

HP <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

福原ファームクラブ

横山三枝子 (Tel.049-246-9319)

予告

◎おいしく・楽しく農業体験 場所: 明見院(川越市今福677) 近く、会費: 家族1,000円(年間)、**1** 3月9日(土) 9:30-12:30 ごろ 雑木林の手入れ、あそぼうパン、竹林の手入れ、**2** 4月13日(土) 9:30-12:00 ごろ 枝豆の種まき手伝い

川越フォレストクラブ

賀登環 (Tel.049-234-9366)

報告

1月10日(水)は「リョウブの森」の手入れの続きです。だいぶきれいになりました。



1月10日 少ない人数でも成果はばっちり!

予告

◎「(仮称)川越市森林公園」計画地「リョウブの森」の手入れ 3月13日(水)

8:30-12:00「リョウブの森」の手入れの続き。集合:川越南文化会館(ジョイフル)、「(仮称)川越市森林公園」計画地で、手入れがされていない公有地やそれにつながる民有地を、動力班と手作業班で効率よく、かつ植生に配慮した生態系保全の手入れを行っています。奇数月の第2水曜日が活動日です。

こもれびの森・里山支援隊 (東洋大学小瀬研究室)

小瀬博之 (E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532)

報告

1月20日(土)は7名の参加で下刈りと林床の片付けを中心とした作業、2月10日(土)は15名の参加でウッドチップパーを使った伐採枝、落枝等の粉碎を中心とした作業を行いました。



1月20日 下刈り



2月10日 枝粉碎

予告

◎里山林保全活動 **1** 3月2日(土)

8:30-16:00・**2** 4月13日(土) 8:30-12:00、場所:東洋大学川越キャンパス(川越市鯨井2100)、定員:15名(高校生以上、事前予約必要)、作業:3月は伐採枝・落枝等の粉碎等、4月の作業内容は未定。詳細はこもれび隊 Facebook ページ(下記ページからリンクあり)。

こもれび隊 HP <https://www.toyo.ac.jp/social/satoyama/>

公益財団法人埼玉県生態系保護 協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

内野 (Tel.049-222-1731)、当日の携帯

電話連絡 (Tel.090-7003-8617)

予告

◎伊佐沼でバードウォッチング(毎月第2日曜日) 集合:10:10 伊佐沼西岸蓮見橋近くのおずまや、雨天中止、持ち物:筆記用具、図鑑、双眼鏡、飲み物、参加費:一般300円、高校生以下100円(保険代・資料代)

1 3月10日(日) 10:10-12:00 北の国へ帰る冬鳥たちの最後の姿を観察します。

2 4月14日(日) 10:10-12:00 水を溜めた沼の鳥や魚は、変わりはないでしょうか。みんなで一緒に春の生き物を観察しましょう。

個人会員からのおしらせ

福岡壽賀子さん(社会環境部会)

高階南公民館 (Tel.049-245-3581)

予告

◎かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」会場:高階南公民館(川越市藤原町23-7) コミュニティスペース、参加費:無料。持ち物:裁縫道具、いらなくなった布類、衣類(ワイシャツ、セーターなど) 直近2~3か月の電気・ガス・水道使用量(料)のわかるもの。参加されたみなさんと身体や環境に負荷の少ない取組や暮らし方など、井戸端会議のようにお話しています。個々の取組が減災・防災につながります。

1 3月15日(金) 13:30-15:00 「プラスチック製品の使用について」~家庭でプラスチック製品を使用することについて健康・環境面から考えてみよう~

2 4月19日(金) 10:00-11:30 「電気の使用量を減らすには」~暑くなる前に、暑さ対策と健康のためにできること~

桜井勢子さん(南の会)

幹事:桜井勢子 (Tel.049-223-3560)

予告

◎南の会 会場:川越市南公民館(ウエスト川越内、川越市新宿町1-17-17)、会費:なし(当日参加者で折半)、“仲間になりませんか”安心、安全な食材を使い、バランスのよい食事が摂れるよう楽しくつくり、食べ、レシピについて話しかう会です。参加をお待ちしています。

1 3月1日(金)・**2** 4月5日(金) 10:00-片付けまで(毎月第1金曜日開催、参加者の都合により変動の可能性あり)

2024年3月

1 金	◎ 10:00 南の会 ○ 10:00 「生物多様性講座」参加申込開始
2 土	◎ 8:30 東洋大学「こもれびの森」里山林保全活動
3 日	
4 月	
5 火	
6 水	◆ 9:00 広報委員会
7 木	
8 金	● 13:30 社会環境部会 ● 14:30 自然環境部会
9 土	◎ 9:30 おいしく・楽しく農業体験
10 日	◎ 10:10 伊佐沼でバードウォッチング
11 月	★ 9:30 「(仮称)川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動
12 火	★ 9:30 池辺公園定例活動
13 水	◎ 8:30 「(仮称)川越市森林公園」計画地「リョウブの森」の手入れ ◆ 9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会
14 木	
15 金	◎ 13:30 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
16 土	
17 日	
18 月	
19 火	
20 水	春分の日
21 木	
22 金	
23 土	★ 9:30 「生物多様性講座」～川越の植物を訪ねて～
24 日	
25 月	
26 火	
27 水	★ 9:30 川越市環境計画見直し意見交換会
28 木	
29 金	
30 土	
31 日	

2024年4月

1 月	○ 10:00 春の里山 自然観察&クリーン活動申込開始 ○ かわごえ環境ネット年会費納入開始(-5月24日)
2 火	
3 水	◆ 9:00 広報委員会
4 木	
5 金	◎ 10:00 南の会
6 土	◎ 8:00 堀さらい(かわごえ里山イニシアチブ)
7 日	◎ 8:00 堀さらい(かわごえ里山イニシアチブ)
8 月	★ 9:30 「(仮称)川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動 ○ 本紙2024年5・6月号(No.197)原稿投稿期限 ○ かわごえ環境ネット理事立候補期限(必着)
9 火	★ 9:30 池辺公園定例活動
10 水	
11 木	
12 金	● 13:30 社会環境部会 ● 14:30 自然環境部会
13 土	◎ 8:30 東洋大学「こもれびの森」里山林保全活動 ◎ 9:30 おいしく・楽しく農業体験
14 日	◎ 10:10 伊佐沼でバードウォッチング
15 月	
16 火	
17 水	◆ 9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会
18 木	
19 金	◎ 10:00 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
20 土	★ 9:30 春の里山 自然観察&クリーン活動
21 日	
22 月	★ 9:30 「(仮称)川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動
23 火	
24 水	
25 木	
26 金	
27 土	◎ 9:00 播種(種まき)(かわごえ里山イニシアチブ)
28 日	
29 月	昭和の日
30 火	

インターネットアクセス (QRコード)



ホームページ



X (Twitter)



Facebook



かわごえ里山



Instagram



YouTube



note



こもれび隊

ボタニカルアート (6) ボタン (ボタン科)



～立てば「芍薬」座れば「牡丹」歩く姿は「百合の花」～と、美しい女性を表現するボタンをみなさまよくご存知ですね。
中国では唐代より「花の王」として、他のどの花よりも愛好されています。従来は種から栽培されていましたが、戦後にシャクヤクに接ぎ木する方法が考案され急速に普及して、日本でも各地にボタン園ができました。(岡治)

おことわり 本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

広報 かわごえ環境ネット
2024年3・4月号
No.196

発行日：2024年3月1日 (第2版) 編集・発行：かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局：川越市環境部環境政策課 350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1
Tel.049-224-5866 (直通), Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoelg.jp
かわごえ環境ネットホームページ <https://kawagoekankyo.net>